

Starfleet Machine – L'ÉPÉE 1839 by MB&F

音速の2倍で大西洋上を飛行する、L'Épée 1839の高性能スイス製時計を見るのは、今に始まったことではない。1976年に超音速航空機が市場に参入した際に、L'Épéeの美しく精巧な柱時計がコンコルドの客室に備えるために選定された。残念ながらコンコルドはすでに退役している。しかし、MB&Fの航空時計学的デザインチームのおかげで、現在、超音速をテーマにしたL'Épéeの時計が新たに発売された。成層圏を行き来するだけでなく、宇宙、そしてはるかかなたを大きく冒険する、Starfleet Machineがそれだ！

Starfleet Machineは、1839年に創設されたスイスで唯一生き残る高性能時計に特化したメーカー、L'Épée 1839が設計と製造を手がけている。Starfleet Machineは、銀河間の宇宙船兼置時計であり、時間と分、2倍の逆行秒、そしてパワーリザーブのインジケーターを特徴としている。よく見える、最上級の仕上がりの内製のムーブメントは、非常に優れた40日間のパワーリザーブが自慢だ(長期の宇宙旅行には大きな燃料タンクが必要)。Starfleet Machineのデザインは、受賞歴を誇る優れた技術を持つ精密機械技術のラボ、MB&Fが行なった。

時間と分は、ドームの弓なりの外形に沿った、手作業で研磨した針で中央のブラックドームに示される。その裏側にある回転レーダーアンテナを伴う小さい回転ドームは、残りのエネルギーを直感的に表示する。5つのバーはムーブメントのねじが完全に巻かれた状態で(40日間のパワー)、バーが1つになると、Starfleet Machineの推進力が低くなった状態だ(8日の残パワー)。すべてが相関的だが、ほとんどの置時計の最大パワーリザーブはほんの8日間だ。

中央の時間・分のドームの12時の下は、タレットが取り付けられたレーザー砲の形をした2倍の逆行秒だ。レーザー砲は、同時にスタートし、互いにクロスオーバーし、その後直ちに再び飛び出して、20秒の間隔で動きが区切られる。先が赤いレーザー砲は、目を見張る視覚的なアニメーションを与え、おそらく等しく重要に、レギュレーターの下下の宇宙船の中心に対して敵の攻撃を防ぐ。レギュレーターは、熟考して完全に見えるような位置に置かれており、すべてが称賛に値する。

L'Épéeにとって最も困難であった部分は、MB&Fの宇宙船デザインによって要求されたムーブメントの構成を順守することだった。L'Épéeの内径は、5つのメインスプリングバレル(最適な性能のためのシリーズ)が特徴で、通常は時計は垂直に立っているが、ここでは平らに横向きに置かれている。エスケープメントプラットフォームも、タレットが取り付けられたレーザー砲から保護するために水平に設定する必要があった。自然と、Starfleetが誇る正確さでムーブメントは40日間で-2から+2分という驚異的な精度で時を刻む！

最上な状態に仕上がったパラジウム処理された真ちゅうのムーブメントの全部品(48の宝石を除く)は、L'Épéeのスイスのアトリエでデザインおよび製造されている。歯車とメインスプリングバレルは、骨組みをまとめたメインプレートと、ステンレススチールの同心のCの形状の外部構造のおかげで、全部が表示される。Starfleet Machineは、垂直着陸歯車の両方の先端で配置可能。メインスプリングを巻いて時間をセットするために裏返したときに役に立つ。

Starfleet Machineの着想時には、MB&Fの創設者、マクシミリアン・ブッサーは、時計のデザイナーがこれまでにやったことのないことを大胆に目指し、L'Épéeは、この提案を喜んで情熱的に受け入れた。CEO アルノー・ニコラスは次のように語っている。「Starfleet Machineに対するMB&Fの構想が私を圧倒した。私は、マックスと同様サイエンスフィクションの大ファンであるため、MB&Fがそのデザインを持ちかけたとき、チャレンジを受け入れなくてはならなかった。我々のチームは、この作品に実にインスパイアされたが、他の人もそうだろうと思うよ。」

Starfleet Machineは、175個の限定版で、「ライト」または「ダーク」バージョンが利用可能。「ダーク」バージョンの部品はルテニウムで仕上げている。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadiraglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Geneva, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33

Starfleet Machine: ジム、これは置時計だ。でも、我々が知っているものとはちがう！

幼少時のヒーローの一人であるスター・トレックのキャプテン、ジェームズ・T・カークのイメージで、マクシミリアン・ブッサーは、不思議な新しい(時計学的な)世界の探検を始めた。その時、彼は ECAL(スイス州立ローザンヌ美術大学)のデザイン科学生チン・ワンと Starfleet Machine のコンセプトを作ったのだ。ブッサーの意見はこうである。「我々は、L'Epée のすばらしい高性能の時計のムーブメントを見て、「うーん、これで何かできるかもしれない」と思い、MB&F で工夫を凝らすことにした。そこで、我々は長期にわたり懸命にデザインを考えたが、今では L'Epée が鮮やかにこれを現実のものにしてくれた。」

奇想天外な表示部

現代の置時計の次であっても、Starfleet Machine は地球のディナーパーティでのバルカン人のように注目を浴びる。これが、宇宙の法則に従った、しゃれたドーム型のインジケーター、およびレーザー砲逆行秒を特徴とした、際立った L'Epée の名前を持つ最初の作品、と言えば十分である。中央の時間と分のドームには、MB&F のシグネチャーの数字があるが一方、パワーリザーブインジケーターのバーは、ドームを支えるダークな、手で仕上げたアークに囲まれている。40 日の大量のパワーを消耗すると、ドームはゆっくりと 270 度回転し、時計が巻かれると逆の方向に回転して戻る。付属のレーダーアンテナは、パワーリザーブインジケーターと同じ速度で回転する。

置時計 - 大きい腕時計のようなもの？

Starfleet Machine は、超排他的な置時計であり、本質的に腕時計と同様のメカニズムを特徴としている。唯一大きいのは、歯車列、メインスプリングバレル(シリーズに 5 つ)、テン輪、ガンギ車、およびブレーキだ。L'Epée のレギュレーターは、一般には腕時計でしか見られない、インカブロック耐震装置も特徴としている。これは、時計を運ぶ際の損傷を受けるリスクを軽減するものだ。

ただし大きな部品は、表面のサイズが大きいために、ムーブメントを精巧に仕上げるのが腕時計を仕上げるよりもより困難である。L'Epée の CEO、アルノー・ニコラスは次のように説明する。「これは、ただ部品のサイズが 2 倍になったために、仕上げに 2 倍の時間がかかるといった類いのものではない。飛躍的に複雑性が増すのだ。研磨する際、腕時計のムーブメントの仕上げと同量の圧力を加える必要があるが、表面が大きくなると、より困難さが増す。Starfleet Machine がこうした最高の微細な仕上げを特徴とすることができるのは、まさに当社の時計技師の経験と器用さのおかげである。」

形式が機能に従う

研磨したムーブメントの詳細は、十分裸眼で認識できる。これは主に、Starfleet Machine の控えめな同心の、メインプレートが付属された C 形状の外部構造のおかげだ。最も外側の C 形状の部分には、3 つの垂直なアークの隣とその間に、三角の刻み目がある。これらの上品な支えのデザインは見事ではあるものの、時間のセットと巻き戻しをする際に Starfleet Machine を裏返しにできるとい、たいへん実用性にも富んでいる。特別の両端のキーは、ムーブメントの裏の巧妙にデザインされたチューブにフィットする。この場合、キーの一方の端を十分奥に入れてムーブメントを巻き、もう一方の端はチューブの奥に突き抜けて、時間のセットが可能となる。

透明な「生物圏」ドーム

Starfleet Machine は、自身の透明な生物圏ドームを搭載し、トップの上にフィットし、船の 3 つの上品なアークの外形に従っている。銀河間の使命では、ドームは船とその乗組員の生命を維持するための住環境を作る。ここ地球では、これが、高性能の時計に対応しない潜在的な環境ハザードである、ホコリや奇妙な指から Starfleet Machine を守っている！ ドームは、スムーズなプロファイルとハンドルのない形で、ポリッシュ加工ガラスで作られており、時間をセットしたり巻くときに時計を裏返しにする際に、軽量で、簡単に取り外しができるようにしている。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Geneva, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33

Starfleet Machine：技術的仕様

Starfleet Machine は、175 個の限定版で「ライト」または「ダーク」バージョンが利用可能。「ダーク」バージョンの部品はルテニウムで仕上げている。

表示部

時間と分：弓なりの手作業で研磨した針が回転し、磨かれた中央ドームで時間と分を示す。ドームは、MB&F のシグネチャーの数字が特徴付けている。

逆行秒：中央ドームから発される 2 倍の逆行で飛び出すレーザー砲で 20 秒の間隔が示される。

パワーリザーブインジケーター：手仕上げのアーキで枠組みされたドームインジケーターは、270 度回転すると残りのエネルギーの直感的な表示を行う：5 つのバー、4 つのバー、3 つのバー、2 つのバー、1 つのバー（1 バー = 8 日）。また 270 度回転する「レーダーアンテナ」で補完される。

主な構造

高さ：約 21cm

寸法：約 29cm

「ライト」バージョン：

内部の C 形状の構造、外部の C 形状の構造、アーキ支柱とねじ：
すべてステンレススチール

「ダーク」バージョン：

内部の C 形状の構造、外部の C 形状の構造、アーキ支柱：
ルテニウム処理されたステンレススチール
ねじはステンレススチール

ムーブメント

L'ÉPÉE 社内のデザインおよび製造によるムーブメント

テンプレ振動数：18,000 vph / 2.5Hz

バレル：シリーズ内に 5 つ

パワーリザーブ：40 日

宝石：48

インカブロック耐震装置

手巻き式：両端のキーで時間をセットし、ムーブメントを巻く

「ライト」バージョン：

パラジウム処理された真ちゅうのメカニズムとメインプレート

「ダーク」バージョン：

パラジウム処理された真ちゅうのメカニズム

ルテニウム処理された真ちゅうのメインプレート

透明な「生物圏」ドーム

材料：ポリッシュ加工ガラス

高さ：27cm

最大直径：31.5cm

詳細についてはこちらまでお問い合わせください：

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Geneva, Switzerland)

E メール：cy@mbandf.com 電話：+41 22 508 10 33

L'EPÉE 1839 – スイス第一級の時計メーカー

L'Epée は、175 年間、腕時計および時計製造の第一線で活躍しています。同社は今日、高性能時計の製造を専門とするスイスで唯一のメーカーです。L'Epée は 1839 年、Auguste L'Epée が当初、ミュージックボックスと腕時計の部品を製造するために創設し、フランスのブザンソン周辺で事業を開業しました。L'Epée の顕著な特徴は、すべての部品をもっぱら手で作るというものでした。

1850 年以降、同メーカーは、「プラットフォーム」エスケープメントの生産で主導的な企業となり、アラームクロック、置時計、およびミュージックウォッチに特化したレギュレーターメーカーになりました。1877 年までに、年間で 24,000 のプラットフォームエスケープメントを製造していました。同メーカーは、アンチノッキング、オートスタート、およびコンスタントフォースエスケープメントなどの特別なエスケープメントの多数の特許を保有する周知のスペシャリストであり、また複数の世に知られる腕時計メーカーを顧客とするエスケープメントの主要サプライヤーになりました。L'Epée は、国際展示会において複数の金賞を獲得しています。

20 世紀には、L'Epée は最高の旅行用時計でその評判を高くしていましたが、多くの人にとって L'Epée は影響力のあるパワフルな人が所有する時計でした。フランスの政府関係者間で、上流層のゲストへの贈与品としても選定されていました。1976 年にコンコルドが超音速航空機として商業的に参入すると、L'Epée の柱時計が客室の装備時計として選定され、乗客にその時の視覚的な反響を提供していました。1994 年には、L'Epée は、チャレンジを熱望し、調整された振り子が付いた世界最大の時計、ジャイアント・レギュレーターを構築しました。高さが 2.2 メートル、重さが 1.2 トンあり、機械のムーブメントだけでも 120 キロの重さがあるこの時計は、2,800 人時の作業を要しました。

L'Epée は現在、スイス、ジュラ山脈のドレモンに拠点を置いています。CEO のアルノー・ニコラス主導の下、1839 年、L'Epée は、洗練されたクラシックの旅行用時計、現代のデザインクロック (Le Duel)、およびアバンギャルドでミニマリストの時計 (La Tour) のレンジを含む、非常に優れた置時計のコレクションを展開しました。L'Epée の時計は、逆行秒、パワーリザーブインジケーター、万年カレンダー、トゥールビヨン、および打撃機構を含む複雑な要素を特徴としており、すべてが社内ですべてデザインおよび製造されています。超長時間のパワーリザーブは、最高に優れた仕上げと共にブランドのシグネチャーになっています。

MB&F – 受賞歴のあるコンセプトラボ

2005 年、ジャガー・ルクルト (Jaeger-LeCoultre) の経営チームの一員として 7 年を過ごし、さらに 7 年をジュネーブのハリー・ウィンストン・レアタイムピース (Harry Winston Rare Timepieces) で最高経営責任者として過ごしたマクシミリアン・ブッサーは、最初のオロロジカルコンセプトブランドを設立しました。MB&F – Maximilian Büsser & Friends (マクシミリアン・ブッサー & フレンズ) MB&F はブッサーが厳選した少数精鋭のハイパークリエイティブな人々で構成されるグループとともに作業することで、究極のオロロジカルコンセプトを開発することに専心しています。伝統の足かせとなる部分は排除しながら伝統を尊重することで、MB&F は伝統と高品質の時計製造と、三次元スカルプチャーを作る最新鋭のテクノロジーを融合するきっかけとしての役割を担っています。

2007 年、MB&F は最初の Horological Machine (オロロジカルマシーン) を発表しました。その彫刻のような三次元ケースと美を追究して仕上げられた機構は、特異とも言えるその後の同社マシーンの基準となりました。それは、時刻を告げるためだけのマシーンではなく、自らが時を知るマシーンの誕生でした。続いて 2011 年には、丸いケースの Legacy Machine (レガシーマシーン) コレクションを世に送り出しました。MB&F の視点から、より伝統に傾倒した作品であり、現代的なオブジェを創り出す上で、時計史上の偉大なイノベーターたちが生み出した複雑な機構をリメイクした、19 世紀の優れた時計技術へのオマージュです。2011 年以降、MB&F では斬新な Horological Machine と、時計史からインスピレーションを受けた Legacy Machine を交互に発表しています。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Geneva, Switzerland)

E メール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33

2012 年度ジュネーブ時計グランプリにおいて、MB&F の Legacy Machine No.1 は、「Public Prize」(オロロジーファンによる投票)と「Best Men's Watch Prize」(審査員による選出)を受賞しました。2010 年度と同グランプリでは、MB&F は HM4 で「Best Concept and Design Watch」を受賞しています。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Geneva, Switzerland)

E メール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33